



2011 年 10 月 25 日 (火)

報道関係者各位

笹川平和財団 (SPF)

「第三国定住：日本の難民受入れを考える」

オーストラリアの知見を参考に

今年は国連の難民の地位に関する条約採択 60 周年、また日本がこの条約に加入して 30 周年にあたります。SPF では、オーストラリアの難民支援の第一線で活躍する専門家・実務家、メリカ・ヤシン・シーク・エルディン氏 (Melika Y. Sheikh-Eldin) ならびにセイン・ナントウ・クヌー氏 (Sein Nanthu Kunoo) を招へいし公開シンポジウムを開催します。

難民受け入れ数が世界第 3 位のオーストラリアの難民支援の経験や教訓をお話し頂き、日本における第三国定住の試験的受け入れの現状と課題について討論していただきます。

日時：2011 年 11 月 4 日 (金) 14:30-17:00 (14:00 受付開始)

プログラム：全 3 部 (別紙参照) 出入り自由

会場：日本財団ビル 2 階 大会議室 (港区赤坂 1-2-2)

入場無料 日英同時通訳付

第 1 部では、UNHCR 駐日事務所首席法務官 ダニエル・アルカル氏の来賓挨拶のあとアジア太平洋難民の権利ネットワーク東アジア分科会代表 ブライアン・バーバー氏に「グローバルな難民受け入れのトレンド、東アジア・日本への期待」について、また外務省総合外交政策局人権人道課長の阿部康次氏に「日本の第三国定住への取り組み」についてお話し頂きます。

第 2 部ではシーク・エルディン氏に「オーストラリア難民受け入れ政策の特徴」、クヌー氏には「オーストラリアのコミュニティレベルの難民受け入れの実践について」をご報告頂きます。第 3 部では両氏に加え、前 UNHCR 駐日代表、東洋英和女学院大学教授の滝澤三郎氏とパネル・ディスカッションを実施します。

シンポジウム終了直後、報道関係者の皆さまを対象にパネリストと自由に質疑応答できる時間を別途設けます。ご興味のある方は是非ご参加ください。

シンポジウム参加お込みについては 当財団ホームページ上
(http://www.spf.org/event/article_7262.html)からお願い致します。

お問い合わせ： 笹川平和財団総務部 広報担当 (兵藤)
TEL：03(6229)5456 FAX：03(6229)5473
携帯：080-1249-7536 Email：hyodo@spf.or.jp

SPF 情報公開担当 (兵藤/中原) 〒107-8523 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 階
電話 (03)6229-5456 FAX (03)6229-5473 Email spfpr@spf.or.jp
ホームページ <http://www.spf.org>

～国連の難民の地位に関する条約採択 60 周年～
「第 3 国定住：日本の難民受入れを考える」
オーストラリアの知見を参考に

＊プログラム＊

14:30～15:15 第一部：オープニング・セッション

14:30 開会挨拶 笹川平和財団 常務理事 茶野 順子

14:35 来賓挨拶 UNHCR 駐日事務所首席法務官 ダニエル・アルカル

14:45 基調報告 「グローバルな難民受け入れのトレンド、東アジア・日本への期待」アジア太平洋難民の権利ネットワーク東アジア分科会代表
Mr. Brian Barbour

15:00 基調報告 「日本の第三国定住への取り組み」
外務省総合外交政策局人権人道課長 阿部 康次氏

15:15～16:05 第二部：オーストラリアにおける国や地域レベルの受け入れ

15:15 報告 1 オーストラリアの難民受入政策の概要
・森谷康文氏（北海道教育大学准教授）

15:25 報告 2 オーストラリアの難民受入政策の特徴
・Dr. Melika Y. Sheikh-Eldin

15:45 報告 3 オーストラリアのコミュニティレベルの難民受入の実践
・Ms. Sein Nanthu Kunoo

16:05～16:15 休憩・質問紙回収

16:15～17:00 第三部：パネル・ディスカッション

【パネリスト】

- ・Dr. Melika Y. Sheikh-Eldin
- ・Ms. Sein Nanthu Kunoo
- ・外務省総合外交政策局人権人道課長 阿部 康次氏
- ・東洋英和女学院大学大学院 国際協力研究科長 教授 滝澤三郎氏

【モデレーター】

- ・なんみんフォーラムジャパン副代表／難民支援協会常任理事 石井 宏明氏

17:00 閉会 終了直後 追加してパネリストとの質疑応答の時間を設けます。